

(2) 100年ぐらい前の学校の様子(大里小・中学校の例)

このころの学校は、私立
大里尋常高等小学校とい
いました。

この学校は、地区の人た
ちがお金を出し合っ
てつくった学校です。

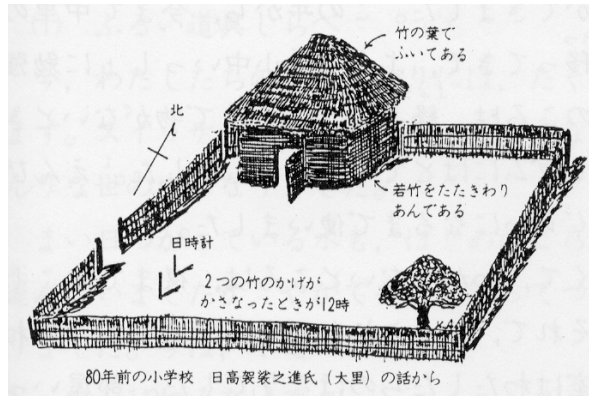
校しやは、たて、横それ
ぞれ6メートルぐらいの

大ききで、ささぶきの校しやでした。ゆか板もあり、つくえや2人が
けのいすもありました。子どもの数は30人ぐらいでした。初めは男
の子だけでしたが、あとから女の子たちも学校に来るようになりました。

学校の勉強は、「読み・書き・そろばん」でした。1きつの本がよく
読み書きできるようになると、次の新しい本がもらえることになっ
ていました。それで、早く新しい本をもらおうと、友だちときょうそう
して読み書きを練習していました。

勉強道具は、すみ、筆、^{せき}石ばん、^{せき}石ひつを使っていました。服そう
は、長着物だけを着て、おびをしめており、はき物は、自分で作った
わらぞうりかげたをはいていました。

子どもたちは、赤ちゃんの子守をしなければなりませんでした。だ
から、中には赤ちゃんをおんぶして学校に来て、勉強をする人もいま
した。



100年ぐらい前の学校の様子